



信用金庫の個人預金口数の動向

とね かずゆき
刀襦 和之

ポイント

- 信用金庫の2014年9月末の個人預金口数は、前年同期比233万口、1.7%減の13,441万口となり、減少傾向が続いている。
- 預金種類別の個人預金口数の内訳は、要求払預金が50.4%の6,779万口、定期性預金は49.5%の6,656万口となった。前年同期比の増減状況をみると、要求払預金、定期性預金ともに減少し、なかでも定期預金の減少数が全体の過半数を占める。
- 地区別の個人預金口数は、全11地区で前年同期を下回った。2003年度末比でも全11地区で減少しており、なかでも北陸、東京の減少幅が2割を超える。
- 2014年度上期中における信用金庫別の個人預金口数と残高の増減状況は、口数・残高ともに増加が112金庫（構成比41.9%）、口数・残高ともに減少が43金庫（16.1%）などとなった。
- 2014年9月末の国内銀行の個人預金口数は、前年同期比1.0%減少の7億8,610万口となった。国内銀行の個人預金口数は2009年度末を底に下げ止まり感がある。

本稿は、日本銀行「預金者別預金」より作成している。

1. 個人預金口数の状況

(1) 口数の推移

信用金庫の2014年9月末の個人預金口数は、前年同期比233万口、1.7%減少の13,441万口となった(図表1)。上期中の増減では18万口、0.1%減少している。

個人預金口数は、新規口座の獲得が伸び悩むなか睡眠口座の解約等が続いており、2013年度末(年度末ベース)には15年連続で前期を下回った。

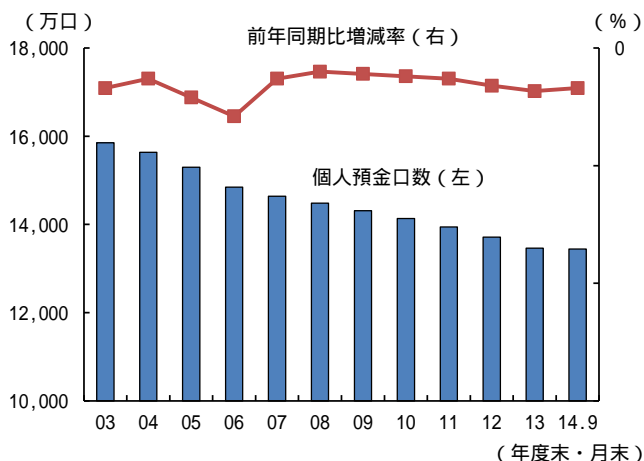
(2) 口数の内訳

個人預金口数を預金種類別にみると、要求払預金が50.4%の6,779万口、定期性預金は49.5%の6,656万口となった(図表2)。

前年同期比の増減状況は、要求払預金が77万口、1.1%、定期性預金は155万口、2.2%、それぞれ減少した。

定期性預金の内訳では、定期預金が2.0%、定期積金は3.6%減少したが、なかでも定期預金の口数減少が目立つ。

(図表1) 個人預金口数の推移



(図表2) 個人預金口数の預金者別内訳の推移

(単位: 万口、%)

	03年度末	13年度末	14年9月末	13年9月末比	
				増減率	増減数
当座預金	62	29	29	5.4	1
普通預金	6,997	6,526	6,576	0.9	62
貯蓄預金	336	162	159	7.2	12
通知預金	0	0	0	15.4	0
別段預金・納税準備預金	19	13	13	9.4	1
要求払預金計	7,416	6,732	6,779	1.1	77
定期預金・据置貯金	6,973	5,861	5,807	2.0	122
定期積金	1,456	860	848	3.6	32
定期性預金計	8,430	6,721	6,656	2.2	155
外貨預金等	4	5	5	15.0	0
合計	15,851	13,460	13,441	1.7	233

(備考) 外貨預金等は非居住者預金を含む。

2. 地区別の状況

2014年9月末の地区別の個人預金口数は、全11地区で前年同期比減少した(図表3)。東京、北陸、中国、北海道の減少率が2.0%を超える一方で、四国は0.2%減にとどまった。

2003年度末と比較すると、全11地区で口数の減少がみられる。なかでも北陸(22.1%減)、東京(20.4%減)の2地区は、減少幅が2割を超えた。

この間、個人預金残高は23.7%増加したが、残高増加率の大きい四国、東海、近畿、北海道の口数減少率は相対的に小幅にとどまっている。

3. 信用金庫別の状況

2014年度上期中の信用金庫別の個人預金口数と残高の増減状況は、口数・残高ともに増加が112金庫(構成比41.9%)、口数増加・残高減少が2金庫(0.7%)、口数減少・残高

増加が110金庫(41.1%)、口数・残高ともに減少が43金庫(16.1%)となった(図表4)。

の112金庫のうち、口数・残高がともに1.0%以上増加は16金庫あった。さらに2.0%以上の増加をみると、近畿地区で3金庫、九州北部で1金庫の合計4金庫となった。

4. 国内銀行の推移

2014年9月末の国内銀行の個人預金口数は、前年同期比7万口、1.0%減の7億7,816万口となった。2003年度末を起点に国内銀行の個人預金口数の推移をみると、2014年9月末には91.0である。

国内銀行の個人預金口数は、2009年度末以降、下げ止まり感が出ている。この要因に地域銀行によるエリア外への新店舗出店、ネット専業や流通系といった新形態銀行の台頭などがあるようだ。

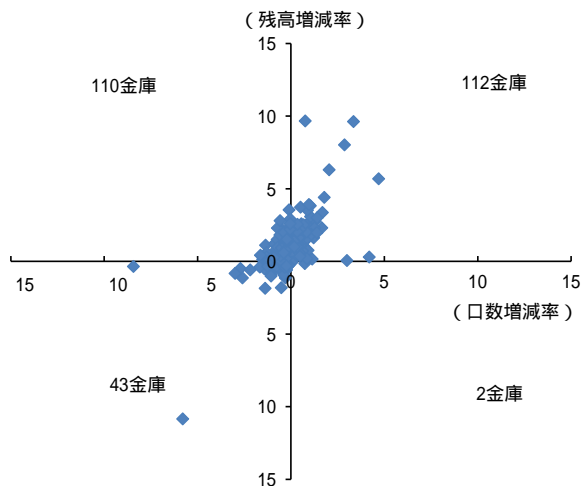
以上

(図表3) 地区別の個人預金口数の推移

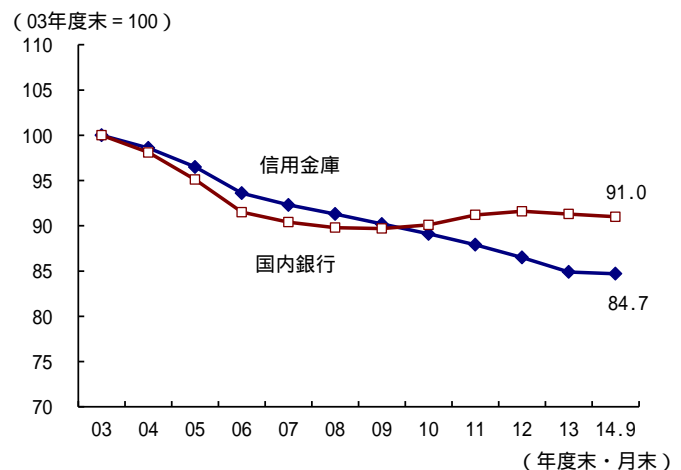
	03年度末	13年度末	14年9月末	(単位:万口、%、億円)				(参考)	
				03年度末対比		13年9月末対比		個人預金残高	
				増減率	増減数	増減率	増減数	03年度末	14年9月末
北海道	711	628	628	11.6	82	2.0	12	41,095	51,809
東北	764	652	652	14.6	112	1.4	9	32,479	38,871
東京	2,391	1,911	1,902	20.4	489	2.8	55	155,845	186,561
関東	3,210	2,703	2,699	15.9	511	1.6	46	167,465	202,553
北陸	573	450	446	22.1	126	2.4	11	26,543	29,840
東海	3,234	2,853	2,856	11.6	377	0.8	24	166,597	216,412
近畿	2,849	2,502	2,498	12.3	350	1.7	44	160,868	208,127
中国	889	719	715	19.5	173	2.3	16	41,321	46,565
四国	346	327	329	4.9	17	0.2	0	16,245	23,331
九州北部	348	282	284	18.3	64	1.6	4	14,958	17,462
南九州	508	407	408	19.6	100	1.6	6	18,211	20,246
合計	15,851	13,460	13,441	15.2	2,409	1.7	233	842,751	1,043,125

(備考) 沖縄県は合計に含む。

(図表4) 個人預金口数と残高の増減状況
(14年度上期中)



(図表5) 個人預金口数の推移(指数)



本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。